

都道府県名

佐賀県

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	牛津町立牛津小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	2	3	3	1	18	29
児童数	81	82	87	81	88	118	1	538	

研究の概要

1. 研究主題

生きる力につながる学力を育む指導
～楽しく学ぶ指導法の工夫～

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

全学年・算数
実態調査の結果、算数科の研究を進めることが急務であると判断したため。

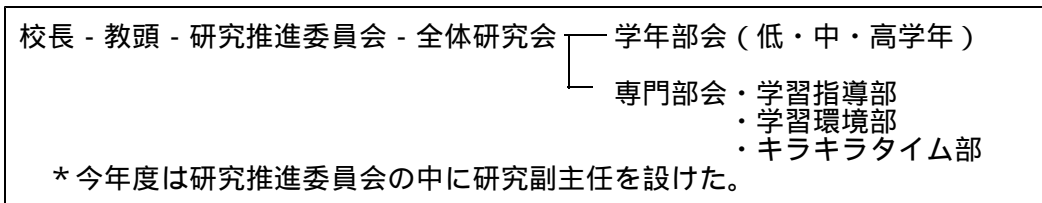
(2) 年次ごとの計画

平成 14 年度	<p>テーマ 生きる力につながる学力をはぐくむ指導</p> <p>仮説 学習を「やる」楽しさを覚え、楽しく学べば、生きる力につながる学力を身につけることができるであろう。</p> <p>研究内容・方法 学習適性、学習の習熟度、学習速度、興味・関心、生活経験等個人差に応じたきめ細かな指導（やって楽しい授業）の充実を図る。</p>
----------------	--

平成 15 年度	<p>テーマ 生きる力につながる学力をはぐくむ指導</p> <p>仮説 学習内容が「分かる」楽しさを理解し、楽しく学べば、生きる力につながる学力を身につけることができるであろう。</p> <p>研究内容・方法 学習適性、学習の習熟度、学習速度、興味・関心、生活経験等個人差に応じたきめ細かな指導（分かって楽しい授業）の充実を図る。</p>
----------------	---

平成 16 年度	<p>テーマ 生きる力につながる学力をはぐくむ指導</p> <p>仮説 学習内容を「活用する」楽しさを味わいながら、楽しく学べば、生きる力につながる学力を身につけることができるであろう。</p> <p>研究内容・方法 学習適性、学習の習熟度、学習速度、興味・関心、生活経験等個人差に応じたきめ細かな指導（できて楽しい授業）の充実を図る。</p>
----------------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

本校は、本校がめざす児童像の実現に向けて、『楽しく学ぶ指導法の工夫』と『きめ細かな指導の工夫』の2視点をあげて研究を進めてきた。成果を以下に挙げる。

(1) 楽しく学ぶ指導法の工夫

- 生活場面と結びつけた課題作りや、ストーリー性のあるお話仕立てにした課題作り（低学年）をしたことで、児童が興味・関心をもって意欲的に学習に取り組んでいった。
- (例) 割合：自分の所持金から広告を見ながら買い物をする学習をした。
具体的な生活場面なので児童は楽しく学習することができた。
- 操作活動やゲーム活動（低学年）を取り入れることで、児童の興味・関心を持続させ、意欲的に学ぶことができた。
- 習熟度別少人数授業を取り入れたことで、児童の発表の場が増えて、満足感を味わう児童が多くなったり、発展的な学習に取り組み、自分の考えを深めることができたり、じっくり考えるコースでは具体的操作により、確実に学習内容を身につけることができるようになったりした。

(2) きめ細かな指導の工夫

- T T形態の授業を実施してきたことで、T 2による個別指導を授業時間内に確保でき、学習内容の定着につながった。
- 少人数形態の授業を実施してきたことで、自分のペースで学習を進める場面を多く確保することができ、学習内容を効果的に定着させられた。
- 1時間の学習の終わりに「振り返り」を書かせることで、自分の伸びやつまずきに気付き、次の活動への意欲をもたせることにつながったり、児童の理解度を把握する有効な手立てとなったりした。

上記の成果については、職員が共通に認めているところではあるが、客観的なデータに裏付けられているわけではない。本校は毎年、全国標準診断的学力調査（NRT）を行っているが、4月に行っているため平成15年度の成果はみることができない。また、今年度から学年末に「観点別学習状況」「評定」到達度診断（CRT）を行うことにしたが、2月実施のため、まだデータが取れていない。数字による比較ができるものは『算数に対する意識調査』がありこれについては昨年度との比較ができる。

	H14.9 実施	H15.7 実施
算数が好き	39%	47%
算数が楽しい	49%	53%

上記データを見ると、僅かながらではあるが、「算数が好き」「算数が楽しい」という児童の割合が増えている。これは、本校が掲げる研究のサブテーマである『楽しく学ぶ指導法の工夫』の成果の表れではないかと考える。

2. 今後の課題

「算数が好き」「算数が楽しい」という児童が半数近くいる反面、そうは思っていない児童もまた、半数はいるということであり、今後の課題である。

好きや楽しいと答えた児童の多くは、テストの点数がよい傾向が見られ、やはり基礎・基本の充実が重要であるということが浮き彫りになったといえる。同時に、テストの成績の善し悪しにかかわらず、算数自体に楽しさを感じられる授業展開の工夫や教材開発の工夫が求められていると考える。

学力等把握のための学校としての取組

4月	2～6年	全国標準診断的学力調査（NRT）
5月	全学年	学力向上のための生活アンケート
7月	全学年	算数に対する意識調査
11月	全学年	学力向上のための生活アンケート
11月	全学年	算数に対する意識調査
1月	全学年	新版学習適応性検査（AAI）
2月	全学年	「観点別学習状況」「評定」到達度診断（CRT）

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

教職員、保護者、地域住民を対象に授業公開を年2回（平成15年6月20日、平成15年11月21日）開催した。

学校便り（学校長発行）で、フロンティアスクールとしての活動を紹介したり、公開授業の案内をしたりした。

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 TTによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無